

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策3 財政健全化に向けた改革の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 税務課長 内田 詔巳 電話番号 0852-22-5891

事務事業の名称	課税事務		
目的	(1) 対象	納税者	
	(2) 意図	適時・適正な課税を行う	
事業概要	中期課税調査計画（計画期間：3か年）において、各税目における重点的に行う調査項目を選定し、全体的に集中して取り組むことで、調査の効率性・実効性を高め、効果的な調査の実施を目指す。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	調査件数	年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
式・定義	中期税務調査計画に従い計画的に調査を実施する	目標値		603.00	408.00	390.00	279.00	件数
		実績値	528.00	911.00	952.00	460.00		
		達成率		151.10	233.30	118.00		
式・定義	指標名	目標値		0.00	0.00			単位
		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	104,138	152,370
うち一般財源(千円)	104,138	152,370

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度は、中期課税調査計画（3か年H24～H26）に基づき、各税目について計画的に調査を実施し、計画件数390件に対して、調査実施件数は460件（達成率118.0%）となった。
 なお、平成27年度からは新たな中期課税調査計画（3か年H27～H29）がスタートしたが、目標の重点化を図ったため、目標数値の計上方法を変更している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・法人三税
無届法人、外形標準課税対象法人等、無申告法人ごとに実地調査等を行い、更正決定等を行った。
- ・軽油引取税
公共事業現場、特別徴収義務者、免税軽油使用者等の調査を行い、更正決定等を行った。また、不正軽油対策として、路上採取等を実施した。
- ・その他税目
特別徴収義務者等に対して、実地調査を実施し、適正な課税を指導した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・法人三税：県内に事務所又は事業所があるにもかかわらず、届出や申告を行っていない法人が見られること、また、外形標準課税対象法人の実地調査の結果、申告誤りが見られること、無申告法人については実態把握が十分でない状況にある。
 - ・軽油引取税：納入地誤りの事例、不正軽油対策の必要性が依然あると認められる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・法人三税：地方税法等の取扱いについて無届法人の納税への理解が十分でないこと、外形標準課税対象法人については地方税法等の規定の解釈に誤りが見られること、無申告法人については、法人との接触が困難な事例もあることが挙げられる。
 - ・軽油引取税：納入地誤りについては特別徴収義務者の理解が十分でないこと、不正軽油対策については、自動車保有者等に対する啓発が不足していることが挙げられる。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・法人三税：無届法人把握のための各種媒体の更なる活用、外形標準課税対象法人については実地、書面指導の計画的な遂行、無申告法人については、現地調査等、効果的な情報収集の検討が挙げられる。
 - ・軽油引取税：納入地誤りについては特別徴収義務者の申告書の点検がより一層求められること、不正軽油対策については、大口需要家、公共工事現場等の継続的な調査、啓発活動の強化が求められる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・法人三税：無届法人把握のための各種媒体の活用、外形標準課税対象法人については正しい申告指導、無申告法人については、現地調査等、効果的な情報収集の検討を行い、実施していく。
- ・軽油引取税：納入地誤りについては軽油流通情報システムを活用した分析と、特別徴収義務者に対する指導の実施、不正軽油対策については、公共工事現場等の調査、路上採取の実施、大口需要家等に対する継続的な調査を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）